

Active Innovative Open Global

可視化
MAKE
VISUALIZE

Acceleration Program for University Education Rebuilding
of YOKOHAMA National University
文部科学省採択事業「大学教育再生加速プログラム」
[本学採択テーマ/テーマII(学修成果の可視化)]

大学教育再生加速プログラム(AP) 推進フォーラム

「学生のための、学生を成長させる「学修成果の見える化」とは」
—学生の主体的な学びの確立をめざして—

日時：平成27年(2015) 2月21日(土) 13:30～17:00 シンポジウム (受付13:00～)
17:20～19:00 情報交換会
2月22日(日) 9:20～12:30 分科会・全体会(受付 9:00～)

会場：東急ベイホテル横浜

参加申込方法：<http://www.yap.ynu.ac.jp> よりお申込み下さい。

対象：大学教育に関心のある学生、教職員

プログラム概要

2月21日(土)

シンポジウム&ディスカッション

① 基調講演

「学生の主体的な学びについて考える -学生が「学修」する仕掛け-」

橋本 勝氏(富山大学大学教育支援センター教授)

② 学生からの意見表明

「学生からみた主体的な学び ～私たちを主体的な学修へ導く条件とは～」

山口大学学生, 明星大学学生

③ 話題提供

「教員と学生の共通理解を促すために -ルーブリックによる評価基準の可視化を通して-」

井上 史子氏(帝京大学高等教育開発センター教授)

④ 学生からの意見表明

「学生が考える、学生が成長し主体的な学びに繋がる成績評価とは」

横浜国立大学学生, 東洋大学学生, 岐阜大学学生

⑤ 質疑応答・ディスカッション

(※ディスカッションは、プログラム途中でも行います。)

2月22日(日)

分科会

分科会1「学習者の目線に立った成績評価とシラバスとは」

座長：榎原 暢久氏(芝浦工業大学工学部教授, 教育イノベーション推進センターFD・SD推進部門長)

分科会2「大学における主体的な学修と就業力」

座長：市村 光之(横浜国立大学大学教育総合センター講師)

分科会3「学生と考える、授業評価アンケートのこれから」

座長：川上 忠重氏(法政大学理工学部教授・教育開発支援機構FD推進センターFD推進プロジェクトリーダー)

全体会

① 各分科会からの内容報告

② 質疑応答、本フォーラムの総括

③ 閉会のあいさつ

主催： **YNU** 横浜国立大学
YOKOHAMA National University 大学教育総合センター

共催：宇都宮大学 基盤教育センター、徳島大学、長崎大学 大学教育イノベーションセンター、山口大学 大学教育センター

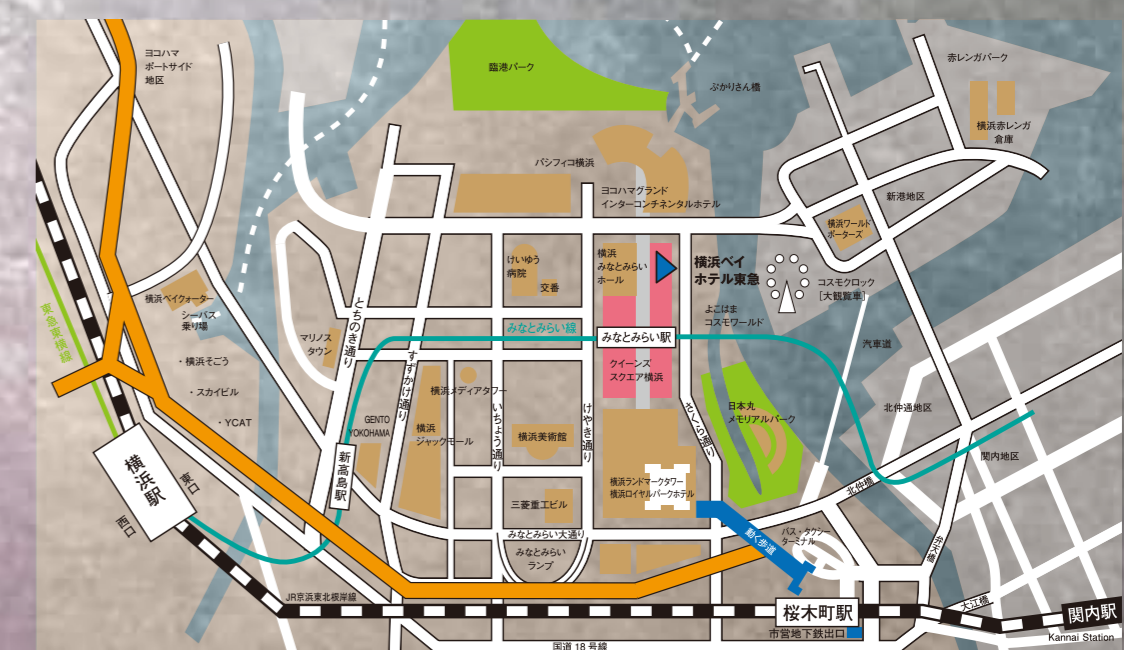
問い合わせ先

横浜国立大学学務・国際部教務課大学教育再生加速プログラム支援室

(担当：栗原、宮島)

Tel: 045-339-3106

E-mail: ynu-ap@ynu.ac.jp



東急ベイホテル横浜
(横浜市西区みなとみらい2-3-7)

<http://ybht.co.jp/access/>

詳細の情報や、参加お申込みについて

<http://www.yap.ynu.ac.jp>

